

新入社員、研修総仕上げ

コロナ禍に負けず
技術力発揮

技術開発センターは9月19日の土曜日に、能力開発センターにおいて5回目となる「新入社員技能発表会」を開催しました。コロナ禍にも関わらず263名と予想を遥かに上回る参加者でにぎわっていました。

新入社員の瀬戸裕菜さんの司会で進行し、技術開発センター北山所長の「開会宣言」を皮切りに、「技術力は北陸電気で働く誇りと決意になる」と矢野社長の力強い「開会の挨拶」と続き、配電部門の新入社員の山前安輝さんが「安全の誓い」を声高らかに唱和し発表会はスタートしました。

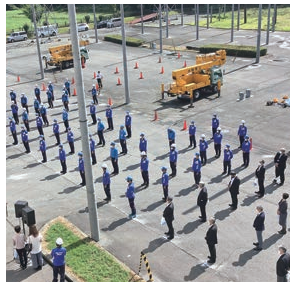
新入社員の実技発表は、全部門（内線・空調管・配電・送变电・外線）の研修総仕上げの課題に挑戦しました。



矢野社長「開会の挨拶」



北山所長「開会宣言」



安全の誓い



空調管



外線



配電



送变电



内線

新入社員の活躍ぶり

また今年のイベントのテーマは「みんなで体験しよう！」ということで「アシストアーム操作体験」、「3D CAD操作体験」や「いろんな危険作業のVR体験」に参観者も含めて挑戦してもらいました。

毎年恒例の技能五輪出場選手による模範演技には、スピードと正確さに驚きの声が上がっていました。

最後に池田顧問の「閉会の挨拶」で締めくくり、短時間で手際よく安全に終了しました。参観者は「子供（孫）が社会人の顔になっていて非常に頼もしく感じました。」「挨拶がハキハキとしていて気持ち良かった。」等、研修での成長ぶりに目を細めていました。

来年は、「技術の北陸電工」に加えて、さらに工程管理など「マネージメント技術の向上」もテーマとして取り上げていこうと思っています。



池田顧問「閉会挨拶」